

令和4年度 アレプロ 教育プログラム募集要項



北陸高度アレルギー
専門医療人育成プラン

福井大学大学院医学系研究科

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科

富山大学大学院医学薬学教育部

北陸高度アレルギー専門医療人育成プラン（アレプロ）

教育コース履修者の募集について

本事業は、北陸3県でアレルギー疾患の専門的医療人育成システムの構築を目指します。3大学の強みを生かした最先端のアレルギー診療、アレルギーマーチを中心に胎児期から高齢者までのライフステージに応じた集学的診療・予防の実践、災害対策を学習できる、共通科目や単位互換を導入した相互補完的教育コースを新設する。web会議システムでの遠隔教育により多施設・多職種連携を推進します。さらに重症難治例や指定難病の好酸球増加疾患など特色ある症例の北陸難治アレルギー疾患データベースを構築し、学会・論文発表に使用して専攻生や教員の意欲を高めると共に、各県のアレルギー疾患医療拠点病院を中心とした地域アレルギー疾患対策に活用し成果を社会に還元します。これらの活動により、専門医・医療機関偏在が問題となる地域でアレルギーの総合診療を実践し、地域医療計画や災害リエゾン活動におけるアレルギー疾患対策の中心的役割を担う人材を育成します。

【募集コース】

福井大学

- アレルギー専門医リーダー養成コース（インテンシブコース）
- 地域アレルギー専門医療人養成コース（インテンシブコース）
- アレルギー研究者育成コース（本科コース）

金沢大学

- 総合アレルギー専門医育成コース（本科コース）

富山大学

- 地域アレルギースペシャリスト養成コース（インテンシブコース）
- エコチル調査アレルギースペシャリスト養成コース（インテンシブコース）

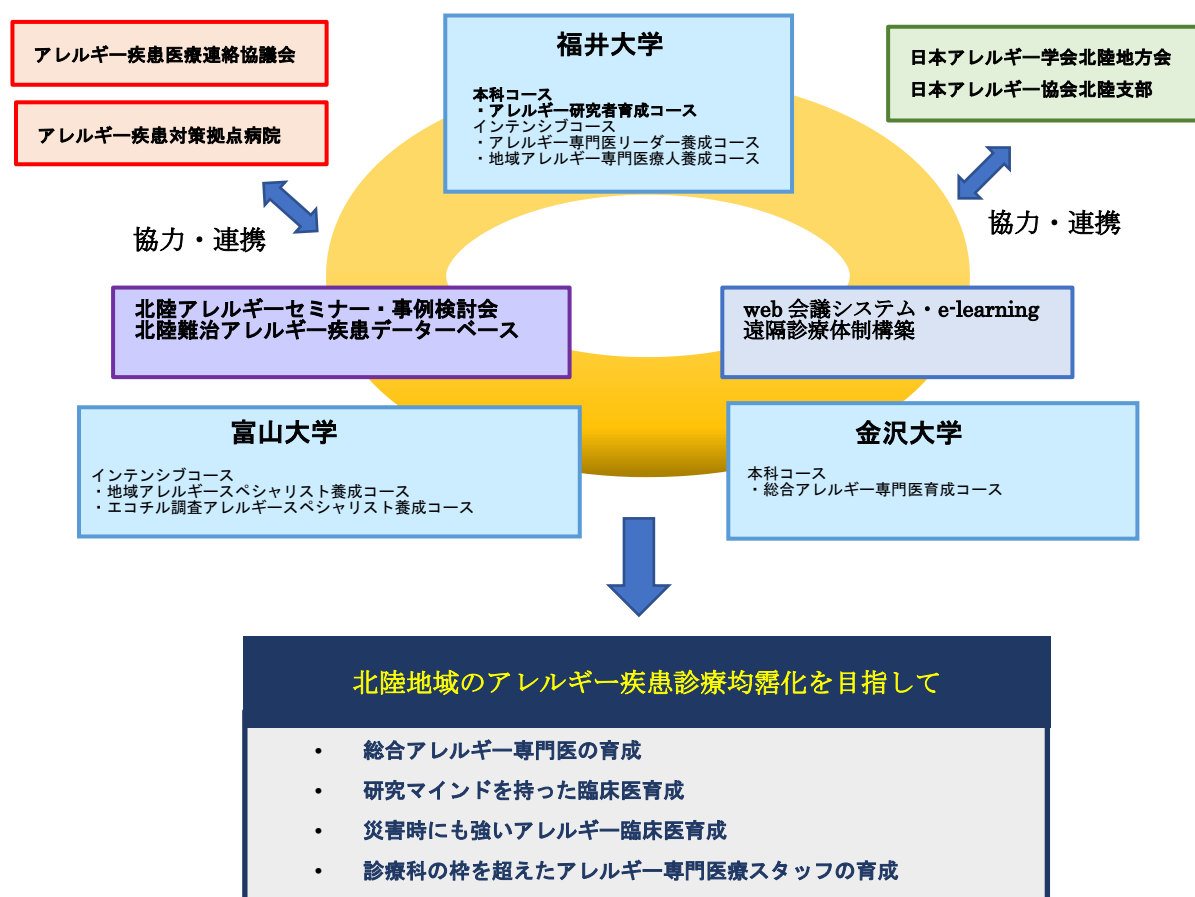
※本科コースの履修開始は、4月又は10月です。

人材育成のネットワーク

北陸高度アレルギー専門医療人育成プラン

アレルギー研究者育成コース（本科コース）

- 育成プランの意義 北陸高度アレルギー専門医療人育成プランは、アレルギー専門医が少なく偏在している北陸地方において、アレルギー疾患診療の均霑化を達成する上で求められるアレルギー疾患の専門医療人と研究マインドを有するアレルギー研究者の育成を目的として設置されたプログラムです。福井大学を代表として、金沢大学と富山大学、北陸3県の地方自治体、各医療圏の基幹病院と連携して実施しています。



- 教育内容の特色 e-learningにより科目を履修し、アレルギー治療と研究に必要な基礎・臨床の研究手法を習得します。北陸アレルギーセミナー、TV 会議システムによる症例検討会等に参加し、アレルギー疾患の診療現場での問題点を把握し、研究へとつなげます。また、北陸難治アレルギーデータベースを活用し、臨床研究を実施する経験を積みます。

主な論文 Takabayashi T, Tanaka Y, Susuki D et al. Increased expression of L-plastin in nasal polyp of patients with nonsteroidal anti-inflammatory drug-exacerbated respiratory disease. Allergy. 2019; 74:1307-1316.
Imoto Y, Takabayashi T, Sakashita M, et al. Combination therapy with montelukast and loratadine alleviates pharyngolaryngeal symptoms related to seasonal allergic rhinitis. J Allergy Clin Immunol Pract. 2019; 7:1068-1070
Kawasaki A, Ito N, Murai H et al. Skin inflammation exacerbates food allergy symptoms in epicutaneously sensitized mice. Allergy. 2018; 73:1313-1321.

教育プログラム・コースの概要

大学名等	福井大学医学部				
教育プログラム・コース名	アレルギー専門医リーダー養成コース（インテンシブ）				
対象者	地域医療機関においてアレルギー診療に携わる医師				
修業年限（期間）	1 年				
養成すべき人材像	診療科の枠を超えてアレルギー疾患の診療に携わる専門的な知識及び技能に加え、地域におけるアレルギー診療のリーダーとして活躍できる人材				
修了要件・履修方法	<修了要件> 必修科目 2 単位の修得。 北陸アレルギーセミナー、症例検討会への参加 4 回以上（TV 会議システム） <履修方法> e-learning 教材、TV 会議による症例検討会、セミナー等で履修する。				
履修科目等	<必修科目> アレルギー診断学特論（1 単位）、アレルギー治療学特論（1 単位）、北陸アレルギーセミナー、症例検討会への参加				
教育内容の特色等（新規性・独創性）	e-learning により必修科目を履修、北陸アレルギーセミナー、TV 会議システムによる症例検討会等に参加する。特に、映像送付システムを活用し診断困難例や難治症例、問題症例を症例検討会に提示し、主体的に参加することを推奨する。本コースの特徴として、遠隔教育から遠隔診療体制の構築につながるよう、TV 会議システムによる症例検討会等への参加が単位認定の重点となるよう考慮する。				
指導体制	福井大学および連携機関に所属するアレルギー各領域の医師が直接指導する体制をとる。				
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	アレルギー疾患診療拠点病院と連携し、地域の医療機関において当該医療圏のアレルギー疾患の診療レベルの向上を担うリーダーとなる。日本アレルギー学会のアレルギー専門医・指導医取得を目指す。				
受入開始時期	2020 年 4 月				
受入目標人数	対象者	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022年度以降も継続
	医師	0	4	4	
	計	0	4	4	

学名等	福井大学医学部				
教育プログラム・コース名	地域アレルギー専門医療人養成コース（インテンシブ）				
対象者	看護師、保健師、薬剤師、栄養士等				
修業年限（期間）	2年				
養成すべき人材像	各診療科にまたがるアレルギー疾患の病態を理解し、多職種協働でアレルギー疾患の診療と患者とその家族支援ができる人材				
修了要件・履修方法	<修了要件> 必修科目2単位を含む5単位以上の修得。北陸アレルギーセミナー、症例検討会への参加4回以上（TV会議システム） <履修方法> e-learning教材、演習、TV会議による症例検討会、セミナー等で履修する。				
履修科目等	<必修科目> アレルギー病態学（1単位）、アレルギー治療学（1単位）、TV会議システムにより症例検討会に参加する。 <選択科目> アレルギー疾患診療支援演習（3単位）、食物アレルギー負荷試験演習（1単位）、吸入指導・在宅注射指導演習（1単位）				
教育内容の特色等 （新規性・独創性）	必修科目はe-learningを利用して受講する。アレルギー疾患診療演習では福井大学医学部附属病院各診療科のアレルギー専門外来において患者と家族への指導に参加し、レポート作成を行う。北陸アレルギーセミナー、症例検討会に参加し、他施設多職種連携について学習する。				
指導体制	福井大学医学系部門および附属病院のアレルギー各領域の医師および小児アレルギーエデュケーター等が直接指導する体制をとる。				
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	地域の基幹病院のアレルギー診療体制においてそれぞれの職種での指導的役割を担う。小児アレルギーエデュケーター取得希望者には小児科での演習科目を通じて、資格取得の支援を行う。				
受入開始時期	2020年4月				
受入目標人数	対象者	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度以降も継続
	看護師、保健師、薬剤師、栄養士等	0	5	5	
	計	0	5	5	

大学名等	福井大学大学院医学系研究科統合先進医学専攻				
教育プログラム・コース名	アレルギー研究者育成コース				
対象者	医学系研究科統合先進医学専攻大学院生				
修業年限（期間）	4 年				
養成すべき人材像	アレルギー疾患の病態解明、新規診断・治療法開発を目指す研究マインドを有するアレルギー専門医				
修了要件・履修方法	<修了要件> 共通科目 18 単位、選択科目 12 単位以上を修得し、アレルギー疾患に関する研究論文が学位審査に合格すること。北陸アレルギーセミナー、症例検討会への参加 4 回以上。 なお、器官再生医学部門の科目においては、今回の事業で新たに作成する e-learning 科目との読み代えにより、修了要件の単位数に算入する。 <履修方法> e-learning 教材、演習、TV 会議による症例検討会、セミナー等で履修。				
履修科目等	<共通科目> 医科学基礎総論（4 単位）、実験基礎演習（2 単位）ほか 2 科目 <選択科目> 器官再生医学部門の科目である成長発達病態学（2 単位）、成長発達病態学演習（4 単位）、呼吸循環器再生分子科学（2 単位）、呼吸循環器再生分子科学（4 単位）、アレルギー学特論（2 単位）、アレルギー学特論演習（4 単位）のほか、分野専門科目				
教育内容の特色等（新規性・独創性）	e-learning により科目を履修し、アレルギー研究に必要な基礎・臨床の研究手法、論文作成法を習得する。北陸アレルギーセミナー、TV 会議システムによる症例検討会等に参加し、アレルギー疾患の診療現場での問題点を把握し、研究へとつなげる。また、北陸難治アレルギーデータベースを活用し、臨床研究を実施する経験を積む。				
指導体制	福井大学大学院医学系研究科統合先進医学専攻先端応用医学コースのアレルギー各領域の教職員がアレルギーの臨床、基礎および研究について直接指導する体制をとる。				
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	リサーチマインドを持ったアレルギー専門医として、アレルギー性疾患の病態解明、新規診断法・治療法開発を目指した北陸発の研究を行う人材として大学病院を中心に、難治性アレルギー疾患、アレルギー難病の診療、研究に携わる。				
受入開始時期	2020 年 4 月				
受入目標人数	対象者	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022年度以降も継続
	大学院生	0	2	2	
	計	0	2	2	

大学名等	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科医科学専攻				
教育プログラム・コース名	総合アレルギー専門医育成コース				
対象者	医薬保健学総合研究科医科学専攻大学院学生				
修業年限（期間）	4 年				
養成すべき人材像	複数の診療科にまたがりアレルギー疾患診療の専門性を有した人材				
修了要件・履修方法	<修了要件> アレルギーに関する英語研究論文が受理・掲載され、学位審査に合格すること。 北陸アレルギーセミナー、症例検討会への参加4回以上。 <履修方法> e-learning 教材、TV 会議による症例検討会、セミナー等で履修。				
履修科目等	<必修科目> 呼吸器内科学特論、アレルギー学会北陸地方会（日本アレルギー学会）への出席 <選択科目> アレルギー学会主催の総合アレルギー講習会（単位）への出席、当プログラム公認の地域における学会、セミナーおよび研究会等への出席、e-learning 科目				
教育内容の特色等 （新規性・独創性）	Total Allergist をめざして、幅広いアレルギーに関する知見の習得、最新情報を効率よく獲得できる。アレルギー性の咳嗽に関する、臨床的および基礎的研究に従事し、世界をリードする。				
指導体制	大学および連携機関に所属するアレルギー各領域のエキスパートであるスタッフがアレルギーの臨床、基礎および研究について直接指導する体制をとる。				
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コースで養成された人材は、アレルギー全般に関する世界水準の知識・技能・研究力を有し、将来、医学教育機関等のスタッフや地域におけるアレルギー診療のリーダーとしてアレルギー診療向上、チーム医療および地域医療推進に貢献する。				
受入開始時期	2020 年 4 月				
受入目標人数	対象者	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022年度以降も継続
	大学院学生	0	2	2	
	計	0	2	2	

大学名等	富山大学附属病院				
教育プログラム・コース名	地域アレルギースペシャリスト養成コース（インテンシブ）				
対象者	医師				
修業年限（期間）	1 年				
養成すべき人材像	地域で求められている、種々のアレルギー疾患（喘息、鼻結膜炎、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーなど）患者の基本的な管理・指導ができる人材				
修了要件・履修方法	<修了要件> 必修科目 2 単位と選択科目を 24 時間以上受講すること。 日本アレルギー学会主催「臨床アレルギー講習会（8 時間）」を受講し、北陸アレルギーセミナー、症例検討会に 2 回以上出席すること。 <履修方法> e-learning 科目、講習会、セミナー参加				
履修科目等	<必修科目> 臨床アレルギー学特論（2 単位） <選択科目> 呼吸器内科実習（8 時間）、小児科実習（8 時間）、耳鼻咽喉科実習（8 時間）、皮膚科実習（8 時間）、眼科実習（8 時間）、総合診療部実習（8 時間）				
教育内容の特色等 （新規性・独創性）	我が国のアレルギー専門医は、内科・小児科・耳鼻咽喉科・眼科・皮膚科に別れており、一人で総合的に診るシステムになっていなかった。しかし、地方では上記全ての専門医が揃うことはないため、いずれの疾患に対しても基本的な管理・指導できる人材が求められている。そこで、大学病院の特性を生かして、幅広いアレルギー疾患の基本的な管理・指導ができるように実習を中心としたプログラムとした。				
指導体制	富山大学附属病院の内科・小児科・耳鼻咽喉科・眼科・皮膚科の専門医が直接指導する。				
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	医師数の少ない地方で幅広いアレルギー診療に従事できる医師として、地域医療に貢献できる。				
受入開始時期	2020 年 4 月				
受入目標人数	対象者	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022年度以降も継続
	医師	0	1	1	
	計	0	1	1	

大学名等	富山大学大学院医学薬学教育部博士課程 アレルギー疫学研究養成コース				
教育プログラム・コース名	エコチル調査アレルギースペシャリスト養成コース（インテンシブ）				
対象者	医療従事者				
修業年限（期間）	2年				
養成すべき人材像	様々な小児アレルギー（喘息、鼻結膜炎、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーなど）を扱う医療従事者				
修了要件・履修方法	<修了要件> 必修科目2単位と選択科目を24時間以上受講すること。 自ら統計解析を行い、論文投稿までを修了要件とする <履修方法> 社会医学系専門医・指導医および生物統計家より直接個人指導を受ける。				
履修科目等	<必修科目> 臨床アレルギー学特論（2単位） <選択科目> 呼吸器内科実習（8時間）、小児科実習（8時間）、耳鼻咽喉科実習（8時間）、皮膚科実習（8時間）、眼科実習（8時間）、総合診療部実習（8時間）				
教育内容の特色等 （新規性・独創性）	臨床疫学を学ぶ上で重要なのが方法論、すなわちその妥当性とデータの質にある。そういった意味ではエコチル調査はどの点をとっても最高水準にあり、小児アレルギーを学ぶ若手医療従事者にとっては理想的な題材である。解析および論文投稿を通して、データの解釈、統計的手法、データの表現方法に関して学ぶことができる。				
指導体制	富山大学大学院医学薬学研究部公衆衛生学講座スタッフ及び富山大学附属病院の内科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科の専門医が直接指導する。				
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	上記の指導体制とともに、常に若手研究員・研究支援員が数名在籍しているので、屋根瓦形式の教育プログラムを進めることができる。将来的には、小児アレルギーの臨床現場のみならず、大学での後進育成ができるリーダーを育てたい。				
受入開始時期	2020年4月				
受入目標人数	対象者	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度以降も継続
	医療従事者	0	1	1	
	計	0	1	1	

文部科学省・課題解決型高度医療人材養成プログラム
北陸高度アレルギー専門医療人育成プラン（アレプロ）

履 修 申 請 書

令和 年 月 日

- ☐ 福井大学大学院医学系研究科長
☐ 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科長
☐ 富山大学大学院医学薬学教育部長

北陸高度アレルギー専門医療人育成プラン 教育コースの履修を希望し、次のとおり申請いたします。

申請する 教育コース	☐ アレルギー専門医リーダー養成コース（福井大学インテンシブコース） ☐ 地域アレルギー専門医療人養成コース（福井大学インテンシブコース） ☐ アレルギー研究者育成コース（福井大学本科コース） ☐ 総合アレルギー専門医育成コース（金沢大学本科コース） ☐ 地域アレルギースペシャリスト養成コース（富山大学インテンシブコース） ☐ エコチル調査アレルギースペシャリスト養成コース（富山大学インテンシブコース） ※本科コースの履修開始は、4 月又は 10 月です
ふりがな 氏 名 ・ 印	印
生年月日	昭和 ・ 平成 年 月 日生（ 才 男 / 女 ）
現住所	（ 〒 - ）
電話番号	— — [P C] @
電子メール	@ ※ P C からのメールを受信できるアドレスを記載してください。
学歴 (大学等卒業以降)	年 月 ☐ 卒業 ☐ 卒業見込み 年 月 ☐ 卒業 年 月 大学院在学中（学籍番号： ） ※学籍番号は金沢大学・富山大学・福井大学の方のみ

